



小松を歩く小さな旅

# こまつのお寺めぐり



## みどころろ クローズアップ

### まずは入り口

お寺の入り口にある建物(門)は、普通「山門」といいます。それぞれの寺で由来や特徴があります。  
門の形式は教恩寺や稱名寺・浄徳寺・燈明寺などは薬医門、勸帰寺や本折本光寺は「四脚門」と呼ばれています。板扉や内部の彫刻・組物などは見応えがあります。2階建てになっているのは「樓門」といい、勝光寺の門の階上は鐘つき堂になっています。鐘樓門といえます。  
来生寺の門は、小松城の二の丸にある



来生寺の寺門(園町)

### にこやかな 芭蕉さんに出会う

建聖寺(寺町)  
元禄2年(1689)、松尾芭蕉は門弟の河合曾良を伴い江戸・深川から奥の細道の旅に出発しました。小松での滞在の地の一つであったといわれる建聖寺には、蕉門十哲の一人、加賀の俳人・立花北枝作による芭蕉木像が残されています。  
師の像を永遠に残すために丹精込めて制作したものと伝えられ、木像表面には「元禄のみとし 北枝謹て作之」とあり、北枝は、小松の泥町(現大川町)出身で、芭蕉が金沢に来たとき兄の牧童とともに門弟となり、金沢から越前の松岡まで19日間ほど芭蕉と同行しています。  
建聖寺の芭蕉木像は、頭巾をかぶった高さが18cmほどの座像で、320年余りの時を経て芭蕉の穏やかな表情が伺えます。(拝観は事前予約が必要)



建聖寺に残る芭蕉木像

### 心洗われる鐘の音

お寺の鐘のことを「梵鐘」といいます。小松市街地の寺院にある梵鐘の多くは、第2次世界大戦のときに金属回収令により供出されました。しかし、西照寺、上宮寺、本蓮寺、稱名寺、真行寺、本折本光寺の梵鐘は、由緒ある名鐘ということで供出を免れています。  
このうち上宮寺と真行寺の梵鐘は名工と言われた初代宮崎寒雄の鑄造によるもの、西照寺の梵鐘は越前屋敷生の寄進で、池の間の銘文は江戸前期の文学者・浅井了意の撰文であることから、いずれも小松市文化財に指定されています。  
勸帰寺や真行寺、本覚寺の鐘樓



真行寺の梵鐘(寺町)

### 明治天皇お泊りのお寺

本蓮寺(細工町)  
明治11年、不平土族や民衆の不安解消と新政府の権威回復のために明治天皇北陸巡幸が行われました。本蓮寺は小松へお立ち寄りの際の宿泊所となり、到着時には当寺の前で、大勢の町民や門徒衆が羽織袴を着て天皇をお迎えました。行在所(あんざいしょ)の慣例に従い赤筋壁の塀が設けられました。  
また御座所は、上段の間が16畳、次の間も16畳で、天皇はこの部屋で多大神社にある齋藤美盛の兜を上覧されたといわれます。その周りの多くの部屋は、警備の人たちの控えの間とな



本蓮寺の御座所



小松の中心市街地にある寺院は、主に小松城主・村上義明、丹羽長重から加賀藩三代藩主・前田利常が隠居して小松城に在城のころに寺院の創設や郊外からの移転が行われ、ほぼ現在の寺院配置に近いものになりました。

町の南北を通る北国街道沿いに形成された各寺院群には宗派が混在しており、加賀藩の仏教政策の歴史がうかがえます。領主の信仰心の表れ、軍事的な要素、寺院の取り締まり、参詣による町の賑わい創出などのねらいがあったと思われます。

小松市では平成19年から寺院群都市会議(寺町サミット)に参画し、寺院を活かした町づくりに取り組んでいます。

※掲載の寺院については事前予約が必要です。  
※宝物などの公開は直接各寺院にお問い合わせください。

編集：小松観光ボランティアガイドの会「ようこそ」  
問い合わせ：小松市観光交流課  
〒923-8650 石川県小松市小馬出町91番地  
TEL 0761-24-8076 FAX 0761-23-6404  
【一社】こまつ観光物産ネットワーク  
〒923-0921 石川県小松市土居原町710番地  
TEL 0761-21-8208 FAX 0761-21-8218

平成27年3月制作



小松市中心市街地には、由緒ある寺院が多くあります。小松市の伝統工芸の一つ九谷焼のお店や、銘菓がそろった和菓子屋をのぞきながら、ぶらり散策してみませんか。

## ぶらりお寺めぐり おすすめコース

<p><b>小松の六ヶ寺コース</b> (加賀百万石ウォークコース) 古くから「六ヶ寺」と呼ばれている由緒ある寺院を巡ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小松駅 ▼ 徒歩10分</li> <li>17 真行寺(寺町) 梵鐘 宮崎寒雄義一の鑄造 ▼ 徒歩5分</li> <li>16 建聖寺(寺町) 芭蕉木像 立花北枝作の座像 ▼ 徒歩10分</li> <li>6 上宮寺(細工町) 梵鐘 宮崎寒雄義一の鑄造 ▼ 徒歩15分</li> <li>2 西照寺(大川町) 梵鐘 越前屋敷生の寄進、銘文は文学者・浅井了意の撰文 ▼ 徒歩5分</li> <li>1 来生寺(園町) 寺門 小松城二の丸にあった鰻橋御門 ▼ 徒歩30分</li> <li>小松駅</li> </ul>	<p><b>橋南の山門コース</b> 寺院の入り口にある山門には、さまざまな様式や由来があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小松駅 ▼ 徒歩20分</li> <li>4 興善寺(松任町) 明治時代に丸岡城の裏門を移築 ▼ 徒歩5分</li> <li>3 教恩寺(大川町) 薬医門 ▼ 徒歩2分</li> <li>2 西照寺(大川町) 冠木門 ▼ 徒歩5分</li> <li>1 来生寺(園町) 小松城二の丸にあった鰻橋御門を移築 ▼ 徒歩30分</li> <li>小松駅</li> </ul>
<p><b>小松の文化財コース</b> 小松市指定文化財の一部を集めたコースです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小松駅 ▼ 徒歩10分</li> <li>17 真行寺(寺町) 梵鐘 宮崎寒雄義一の鑄造 ▼ 徒歩5分</li> <li>16 建聖寺(寺町) 芭蕉木像 立花北枝作の座像 ▼ 徒歩10分</li> <li>6 上宮寺(細工町) 梵鐘 宮崎寒雄義一の鑄造 ▼ 徒歩15分</li> <li>2 西照寺(大川町) 梵鐘 越前屋敷生の寄進、銘文は文学者・浅井了意の撰文 ▼ 徒歩5分</li> <li>1 来生寺(園町) 寺門 小松城二の丸にあった鰻橋御門 ▼ 徒歩30分</li> <li>小松駅</li> </ul> <p>※文化財の見学は事前連絡が必要です。</p>	<p><b>橋南の山門コース</b> 寺院の入り口にある山門には、さまざまな様式や由来があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小松駅 ▼ 徒歩20分</li> <li>4 興善寺(松任町) 明治時代に丸岡城の裏門を移築 ▼ 徒歩5分</li> <li>3 教恩寺(大川町) 薬医門 ▼ 徒歩2分</li> <li>2 西照寺(大川町) 冠木門 ▼ 徒歩5分</li> <li>1 来生寺(園町) 小松城二の丸にあった鰻橋御門を移築 ▼ 徒歩30分</li> <li>小松駅</li> </ul>

### 7

#### 燕山本蓮寺



本願寺5代純如上人の二男・鸞芸が文安元年(1444)、能美郡津波倉で創建。本願寺の系譜を引く由緒ある寺院で寛文8年(1668)現在地に移転。寺蔵の親鸞聖人絵伝(小松市指定文化財)は当地では最も古いもの。明治期に天皇の北陸巡幸に際し小松での行在所(宿泊所)となった。中庭には高山右近ゆかりの灯籠がある。

【所在地】 細工町28 (0761)22-0542

青森県鰯ヶ沢で天台宗寺院として創建。後に恵流が証如上人に帰依し浄土真宗となり現在地に移転した。文政8年(1825)に建立の御経堂(右写真)には六千九百冊余りの一切経が収蔵されている。寺門(小松市指定文化財)は二之丸にあった鰻橋御門を移築したもので、現存する数少ない小松城建造物。

【所在地】 園町チ6 (0761)22-4773

# こまつのお寺 リスト

## 5 松任山 正覚寺



江戸時代後期に上宮寺の了雲が道場として現在地に創建。明治11年に正覚寺の寺号が成立した。本堂は昭和5年の大火で焼失し、現本堂は昭和54年に鉄筋造りで再建された。山門は能美郡役場にあった小松城内の門を移築したと伝えられている。

【所在地】松任町105-2 (0761)22-4505

浄土真宗  
本願寺派

## 2 弓波山 西照寺



蓮如上人の弟子・教明が創建。江沼郡弓波から小松に移り、正保2年(1645)に現在地に移転した。寺蔵の蓮如上人紙牌(小松指定文化財)にある詠歌から二字を載せ寺名になった。梵鐘(小松市指定文化財)は越前屋敷生の寄進で、銘文は江戸時代前期の文学者・浅井了意の撰文による。

【所在地】大川町3丁目60 (0761)22-4172

市指定  
文化財あり

真宗  
大谷派

## 6 押野山上宮寺



石川郡押野村で天台宗太子堂として創建。その後文明元年(1469)了誓が蓮如上人に帰依し浄土真宗に改宗した。寛永年間に現在地に移転したが、移転に際して前田利常公から金欄の能衣装を賜ったといひ、本堂は金箔、欄間部分は極彩色で裝飾されている。梵鐘(小松市指定文化財)は名工・宮崎寒雄義一の鑄造によるもの。

【所在地】細工町30 (0761)22-1395

市指定  
文化財あり

浄土真宗  
本願寺派

## 3 室谷山 教恩寺



室町時代末期に教如上人の側近・西乗が尾小屋で創建。寛永年間に現在地に移転した。本願寺から下付の「五尊」はすべて江戸時代前期のもので、県内でも珍しい貴重なもの。13代住職の谷了然は明治期に中国などで大陸布教の先駆者として知られている。

【所在地】大川町3丁目66 (0761)22-4413

市指定  
文化財あり

真宗  
大谷派

## 8 中林山 正行寺



石川郡中林で創建され1640年頃現在地に移転。寺領が明治・昭和の大火で減少。寺院建築としては珍しい建物で町並みになじんでいる。木像の阿弥陀如来像としては小松で一番大きい(高さ90センチ)。聖徳太子像(15歳、2歳)2体が厨子に入っている。江戸時代作の聖徳太子絵伝4幅がある。

【所在地】材木町59 (0761)21-1104

市指定  
文化財あり

真宗  
大谷派

## 4 大島山 興善寺



西浦弾正左衛門尉が蓮如上人に帰依し興善坊と名乗り文明年間(1469~1486)能美郡大島村で創建。江戸時代初期に中町(現材木町)に移り、大正2年に現在地に移転した。蓮如上人御消息(小松市指定文化財)や上人60歳の自画像、上人御下賜の五却思惟如来御尊像のほか、実如上人書状を寺蔵。山門は明治期越前・丸岡城の裏門を移築したもの。

【所在地】松任町85 (0761)24-0106

市指定  
文化財あり

浄土真宗  
本願寺派

## 9 遠山 遠慶寺



慶長7年(1602)教善により本蓮寺境内に創建。その後、中町に移転。昭和5年の大火で小松城から移築した瓦門を含め焼失。昭和62年本堂、庫裏を再建する。文化8年(1811)に宣如上人から白江村講中へ下された御消息を預かっている。電助町住、滝本岩見(金工)銘の「三具足」、蓮如上人の六字名号がある。

【所在地】中町25 (0761)21-5260

市指定  
文化財あり

真宗  
大谷派

## 10 佐々木山 稱名寺



鎌倉時代前期に近江源氏一族の佐々木盛綱が能美郡赤井村で創建。享保12年(1727)現在地に移転した。梵鐘は、戦中の金属類回収令の際に文化的価値のある名鐘として供出をまぬがれた。明和6年(1769)作の古文書「烏兎記」(小松市指定文化財)があり、勝光寺11代住職が見聞したことを日記として1年分記録されている。

【所在地】西町96 (0761)22-0344

市指定  
文化財あり

真宗  
大谷派

## 14 小松山 法界寺



仁安2年(1167)真言宗・龍真が能美郡小寺村に小松寺を創建。その後、浄土宗に改宗して、天正5年(1577)に法界寺と号し、寛永17年(1640)現在地に移転した。主な寺宝には浄土曼荼羅図(小松市指定文化財)、涅槃図、麻耶夫人像がある。

【所在地】東町92 (0761)22-3448

市指定  
文化財あり

浄土宗

## 11 法昌山 妙円寺



寛和元年(985)花山法皇の勅願により天台宗円教が仏生寺を開創。天正3年(1575)住職如仙が日蓮宗日啓に帰依して天台宗から日蓮宗京都妙顕寺の末寺となり後に妙円寺と号する。昭和7年の大火で全焼、寺物の大半を焼失するが、後に再建された。毎月8日鬼子母神祭、2月3日節分祭が行われている。

【所在地】東町80 (0761)22-6706

市指定  
文化財あり

日蓮宗

## 15 圓滿山 本光寺



天延3年(975)清和天皇の曾孫・多田満仲の子・源賢が加賀八幡に天台宗・圓滿寺を創建。文明4年(1472)蓮如上人に帰依して浄土真宗に改宗し、蓮慶が本光寺と号した。親鸞上人御影像を蔵し、山門と本堂は江戸時代後期の建立である。

【所在地】大文字町80 (0761)22-6624

市指定  
文化財あり

浄土真宗  
本願寺派

## 12 打越山 勝光寺



室町時代、本願寺5代絆如上人が江沼郡弓波の村人の請により、創建されたと伝えられている。第7代住職祐欽が、村上義明の領主時代に小松に移り、のちに小松勝光寺(東)を創建した。3度の大火では焼失するも門徒衆の寄進・尽力で再建。山門は当地では珍しい鐘楼門仕様で梵鐘は2階にある。

【所在地】東町87 (0761)22-0797

市指定  
文化財あり

真宗  
大谷派

## 16 永龍山 建聖寺



室町時代後期、大乘寺13代和尚の雪窓祐輔が能美郡寺井で創建。天正8年(1580)小松の城北に移り、寛永17年(1640)に現在地に移転。前田利常公の12子・亀松の死を悼み、寄進した仏涅槃図や松尾芭蕉の門人・立花北枝(小松出身)作の芭蕉木像があり、共に小松市指定文化財である。

【所在地】寺町94 (0761)21-3170

市指定  
文化財あり

曹洞宗

## 13 大垣山 勸帰寺



室町時代後期に連教が能美郡本折で創建。寛永19年(1642)現在地に移転。石山合戦で殉教精神に燃えて織田信長と戦った「能美四講」(能美郡220余の村で結成)に報いるために贈られた親鸞聖人と顕如上人の影絵軸「群中御影」(小松市指定文化財)を預っている。毎年7月23日は、なすびのほんごさん(御影を開帳)の修行が行われる。

【所在地】東町88 (0761)22-0526

市指定  
文化財あり

真宗  
大谷派

## 18 足羽山 本覚寺



建久元年(1190)越前の和田庄で波多野義重の嫡男・義成、のちの親性が創建。慶長7年(1602)鶴来同村へ移り、慶長9年(1604)現在地に移転。蓮如上人筆の親鸞聖人遺文二尊大悲(小松市指定文化財)がある。毎年、報恩講(11月3日)に音楽法要を務めている住職は教区女声合唱団「沙羅の花」の指導、仏教音楽による教化活動を行っている。

【所在地】寺町37 (0761)22-0516

市指定  
文化財あり

真宗  
大谷派

## 22 菅生山 浄誓寺



文明年間江沼郡菅生村の真言宗の僧願正が蓮如上人に帰依し、浄土真宗に改宗。小松三日市に道場を建て、上人が退去したときに浄誓寺の寺号を得、宝暦5年(1755)現在地に移転した。本堂の欄間は井波の彫師によるもの。

【所在地】本折町6 (0761)22-6039

真宗  
大谷派

## 19 太子山 正雲寺



室町時代中頃に真言宗寺院として創建。後に浄土真宗に改宗し、現在地に移転。地元では「ネコの御坊さん」と親しまれているが、「根来(ねごろ)から来た坊さん」が転化したらしい。江戸時代から伝わる絹本著色聖徳太子絵伝(小松市指定文化財)、聖徳太子木像がある。又、本堂前のイチヨウの大木は見事である。

【所在地】本鍛冶町33 (0761)21-2372

市指定  
文化財あり

真宗  
大谷派

## 23 東照山 長圓寺



光弁が能美郡大領中村に建てた天台・真言両宗の妙覚院が始まり。宝徳元年(1449)、蓮如上人が北国下向で滞在された時、11代光海が上人の弟子となり(法名 賢覚)浄土真宗に改宗。応仁の乱の頃、比叡山の衆徒による襲撃に対し、本願寺を守護した功績により、蓮如上人より頂いた御絵像と御真筆が寺宝である。

【所在地】上本折町289 (0761)22-6762

市指定  
文化財あり

真宗  
大谷派

## 20 数瀬山 教善寺



天正年間石山合戦の際、その功績を認められた教善が鳥越村数瀬で創建。昭和56年の豪雪で倒壊、翌年現在地に移転する。外観は個人住宅そのものだが、奥座敷には前住職手造りの本堂がある。旧鳥越村に建っていた寺材が移築され、他の寺院には見られない趣があり、前住職の思いが感じられる。寺には顕如上人直筆の掛軸がある。

【所在地】芦田町1丁目21 (0761)22-7970

市指定  
文化財あり

真宗  
大谷派

## 24 塚谷山 燈明寺



文明6年(1474)蓮如上人が江沼郡山中に巡錫の折に帰依した称念が道場を創建したのが始まりと言われている。本覚寺の末寺として大文字町にあったが昭和7年焼失し、現在地に移転した。山門は京都高台寺の薬医門を模し、極彩色の彫刻とヒノキ材で造られた見事なものである。

【所在地】向本折町マ70 (0761)22-6457

市指定  
文化財あり

真宗  
大谷派

## 17 松岡山 真行寺



文明17年(1485)真言宗の実善が蓮如上人の教化を受けて浄土真宗に改宗し能美郡松岡で創建。慶長3年(1598)現在地に移転。本堂の内陣は文化3年(1806)以前の建築物で、古い影像がある。梵鐘(小松市指定文化財)は元禄3年(1690)真行寺住職・宗誓の時、宮崎寒雄義一によって造られた。

【所在地】寺町21 (0761)22-6432

市指定  
文化財あり

真宗  
大谷派

## 25 専光寺 小松教会



金沢市にある真宗大谷派の寺院で、寛如上人の弟子・志念を開基(1320)とした通称吉藤専光寺の別院。加南地区在住の門徒衆の利便を図るための道場として設立された。現在の建物は平成2年に建てられた鉄筋コンクリート造りのモダンな近代的寺院である。

【所在地】龍助町89 (0761)22-2817

真宗  
大谷派